

第3回知多市図書館機能調査検討委員会 意見及び対応内容一覧

※質疑等、委員会審議中に解決済のものは掲載しておりません。

(1) 「市民意向に沿った新図書館のあり方」、「新図書館機能整備方針案」について

(順不同)

No.	意見	対応内容
1	現行の図書館の延床面積3,229㎡に対して1割程度縮減となると、本当に憩いとくつろぎを実現できるのか。様々なスペースを入れられるのか。	新図書館は公共施設再配置計画の個別に20%縮減する施設には該当しない方向で調整していますが、公共施設の総量を縮減するという市全体の方向性に沿う必要があると考えています。そのため、新図書館としては、現行の図書館の延床面積以下の規模とする方向で考えています。なお、現行の図書館は2階に遊休スペースがあることから、利用できるスペースは現行よりも広く確保できると考えています。
2	なぜ延床面積を縮減するのか。公共施設の規模の縮減は、図書館だけでなく、様々なものを総合して縮減する話で、図書館は対象にしない方が良いのではないか。	規模は限られますが、技術やデザインなどの様々な工夫により、コンパクトな施設の中に現行の図書館以上の機能を導入できるよう検討していきます。
3	くつろぎやゆとりの場を基本方針とするならば、規模を20%縮減するのは少し無理があり、余分なところをつくることも必要ではないか。	今後検討していきます。
4	音読用の部屋は複数箇所つくってほしい。録音室と音読の室は別にしてほしい。	今後検討していきます。
5	広さなどの具体的な案がないため、イメージが沸きづらい。	本事業は、民間が設計から維持管理まで一括して行うPFI手法で実施していきます。「性能発注」とし、具体的な設計についても民間の提案の中から選択していくため、現段階で具体的なイメージ図等がない点をご容赦願います。 なお、配置予定の北街区は54,000㎡の敷地面積で、文化機能のほか商業機能も導入します。
6	新図書館のあり方(資料2)、「2 主な市民意向への対応-(1)スペースの要望-①くつろいで閲覧(選書)」とあるが、「選書」は図書館員が実施することのため、文言を削除してはどうか。	削除します。
7	新図書館のあり方(資料2)、「2 主な市民意向への対応-(2)サービス、施設機能の要望-③本の返却ポストの充実」とあるが、手続きも自動化した自動返却機を意味するのであれば、文言「返却ポスト」は「返却機」にしてはどうか。また、文言「④誰でも利用しやすい開かれた雰囲気」はカギカッコを付けてはどうか。	そのとおり変更します。
8	ゆったりした空間ということについて、感覚的なものも重要で、スペースを広くすれば事足りるわけではないように思う。	事業実施の際には、民間に対して基本理念や基本方針を実現できる提案を求めています。 ゆったりしたくつろぎ空間の創出については、公募要求水準書等の仕様条件も含めて、様々な創意工夫がなされるよう、今後検討していきます。
9	アンケート結果で料理本や観光本が望まれており、これらを開架書架に置く場所も必要かと思う。	今後検討していきます。

10	インターネット技術の進展や外国人の増加に対応したサービスも導入されていき、現行の図書館とはかなり異なるものになるかと思う。また、様々な施設が1箇所に集積するため、南粕谷等、遠方との連携も必要かと思う。実際の完成はかなり先であることも考慮する必要があると思う。	今後検討していきます。
11	閉架の増加により閉架の本を借りる人が多くなると思うので、できるだけ借りやすい方法を今後検討していただきたい。	今後検討していきます。
12	中学生の時、閲覧室を使いづらく感じた。基本方針に「多世代にやさしい図書館」と、「多世代」には中学生も意識していただきたい。	閲覧室やその他機能を含め、誰もが利用しやすい図書館になるよう、検討していきます。
13	若者や高齢者など、年代別の機能があると良いと思う。	
14	図書館としての根本の部分をぶらさずに、かつ、市民が望むものをつくれると良いと思う。	
15	整備方針案（資料4）、新図書館の施設機能の検討については、現行と比較して記載する方がわかりやすいのではないか。（p.32～） 数値でなくとも、「充実」、「推進」、「廃止」といった文言による比較でも良いと思う。	
16	市民意向調査では反対意見もあるので、現行の課題が改善されるというアピールをもっと行くと、反対意見の人も納得しやすいのではないか。	別添資料にて整理させていただきます。（資料1-1 参照） 現行の課題は基本計画（案）p.13 にまとめています。 現時点では、新図書館との数値による比較は困難なため、方向性を記載します。
17	他の施設で賄えるものは他の施設で実施すればよく、生涯学習等、図書館としての機能をしっかり持たせることが必要だと思う。	公募要求水準書等の仕様条件も含めて今後検討し、基本理念・基本方針に沿った図書館を目指してまいります。
18	資料中の語尾に「検討する」と「目指す」があるが、違いはあるのか。	「目指す」は想いが強いもので、「検討する」は様々な代替案がある場合に使用しています。（該当箇所の意味合いを確認済）
19	市の人口推移を考慮して、年齢別のニーズに対応していく必要があるのではないか。	資料 1-2 参照
20	現行の図書館は無駄な部分もあり、用途を初めに細かく決めるのではなく、様々な使い方ができる図書館にすると良いのではないか。	資料 1-3 参照 可動式間仕切りによるスペースの有効利用のほか、柔軟にスペースを利用できるよう、今後検討していきます。
21	時間帯によって利用する人が異なるため、時間帯によって流動的に使用できるスペースなどを検討してはどうか。	
22	若者は平日はあまり来ない等、時期によっても使い方に变化があると思う。柔軟に対応可能な図書館になると良い。	
23	整備方針案（資料4）p.32、蔵書数の設定について、全国の市区立図書館の蔵書数を指標とすると偏りが大きく、あまり意味がないのでは。近隣の同規模の自治体を指標とした方が良いのではないか。	近隣4市（半田市、常滑市、大府市、東海市）を指標とし、修正しました。
24	整備方針案（資料4）p.33、分類表示について、日本十進分類法（NDC）にするのか、メ	分類表示を基本計画で具体的に指定することは現時点では考えておりませんが、今後、公募

	ディアコスモスのように別の分類にするのか、検討しているのであれば記載すると良いのではないか。	要求水準書への記載について検討していきます。
25	くつろぎの図書館とするのであれば、駐車場の料金が気になる。	今後検討していきます。
26	整備方針案（資料4）の事項をすべて実現できたら良いものになると思うが、他と同じようなものになるような気もする。知多市らしいものが1つあると良い。	今後検討していきます。
27	現行の図書館を残してほしいとの意見がボランティア団体のメンバーでは大多数である。	現行の図書館の課題解決のため、中央図書館機能は新図書館へ移転し、整備するものです。
28	現行の図書館は残すのか、新図書館と連携していくのか。	現行の図書館の活用については現段階で未定であり、今後検討していきます。
29	現行の図書館の2階平面図の「バルコニー」は、どのように使われているのか。	屋根の状態であり、一般の人が入れる状態ではないので、平面図の名称を削除します。

(2) 基本理念（案）について

No.	意見	対応内容
30	①が良いが、「学びの場」を「憩いの場」とすると、整備方針案 p.26 の基本方針と整合性がとれる。副題は長く、いらなと思う。	①を採用し、副題を外して、「学びの場」を「いこいの場」とします。
31	知多市の「知」と「多」があるので、①が良い。	
32	①が良い。「知をもとめ」という文化的な文言が最初に来ることが重要ではないか。	
33	「憩い」はひらがなとし、柔らかな表現とした方が良いと思う。	
34	副題は残した方が良いのではないか。	